

つるぎ町立 半田病院だより

リニューアル
Vol.33

2026 年冬号



～ 新年のご挨拶 ～

病院事業管理者 須藤泰史

謹賀新年 地域の皆さまには、穏やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年当院は、“4 億円の赤字決算！”と大きく徳島新聞や四国放送に報道されました。しかしながら、新年度に入り、若い先生方を多数お迎え出来たことで病院が活気づき、再び前を向いて進めたように思います。そして、9 月には外科に出石先生をお迎えし、半田病院開設時からあった一番歴史のある外科常勤体制を復活することもできました。これらにより、業績も昨年度より上向きになっております。

1 月からは、救急専門医の資格のある地域枠の高島先生が 1 年間赴任してくれます。そして、4 月からの新年度には、形成外科常勤医が顧問として来てくれて、形成外科を開設します。シミ取りなどの美容外科も兼ねますので、ご希望の方は是非ご利用ください。

今年も、また様々なことが起こりそうです。地域の皆さんの助けなしには、半田病院も続けられないと思います。これからも病院の理念 “安心と信頼 そして 地域と共に歩む” をモットーに皆様から愛される病院になれるように職員一同一緒に頑張りますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



新年あけましておめでとうございます。地域の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えしたこととお喜び申し上げます。

昨年は、病棟編成をはじめとした様々な困難な状況を、職員一丸となって乗り越え地域医療に貢献できたことを心より感謝いたします。合併症を多くもつ高齢患者に対して、医療の質の向上のみならず、チームワーク、気遣いで安全安心な治療と看護が提供されています。これもひとえに職員一人一人の努力のたまものだと思っています。

今年は、新しい科が増えます。より一層地域のみなさんのニーズに応えられるものと思っています。また地域の皆さんにより身近な病院と感じて頂けるように情報発信にも力をいれたいと思っています。このように新しく物事が始まると、苦勞をかけることも多くみられるとは思いますが。しかし新年を迎えるのと同様に、新鮮で期待感も膨らむのではないのでしょうか。そして働きやすい職場環境づくりにも力を注ぎ、患者、職員ともに満足のできる病院にしたいと思っています。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。



事務長 丸笹寿也

病院職員の皆さま、関係者の方々、それぞれに輝かしい健やかな新年をお迎えのことと存じます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

今更ながらですが、年の初めには干支が気になりますよね。日本昔話というアニメ番組で、動物たちがマラソン競争して早いものから干支が決まっていたという内容を今でも覚えています。子(ね)ネズミからはじまり、亥(い)いのししまでの十二支に、甲(こう・きのえ)から癸(き・みずのと)まで、もともとは中国で生まれた一から十まで数えるための十干(じっかん)を組み合わせたものが、干支と言われているようです。

今年は、午年(うまどし)です。午は、十二支のなかでは七番目に数えられ、時刻でいえば午前11時から午後1時までの2時間を指し、方角では南にあたるそうです。十二支のなかでも、午は成長や成功・繁栄のシンボルとして縁起が良いようです。また、今年の干支は「丙午(ひのえうま)」です。60種類の干支の四十三番目になります。そして、丙は、十干の三番目で、植物の成長にたとえると、「芽が成長し、葉が広がり、成長が著しい状態」を意味するようです。実は、私は60年前の昭和41年のひのえうま生まれ、ということは、60歳・還暦を迎えます。(本人の気持ちは、身も心も30代ですが・・・)

さて、2026年はどんな年になるのでしょうか。「人間万事塞翁が馬(にんげんばんじさいおうがうま)」ということわざがあります。中国の塞翁という人が飼っていた馬が逃げたため、人々が慰めに行くと、塞翁は「このことが幸いを呼ぶかもしれません」と悲しむ様子はありませんでし

た。その後、逃げた馬が別の立派な馬を伴って戻ってきたということです。

人の幸・不幸を予測することはできません。また、一見不幸にも見える出来事が後に幸運につながったり、逆に幸運の前兆と思われたのに予想外の試練に見舞われたりすることもあります。全国的な事例として病院の経営が厳しく不幸かと思われることも、長期的には幸運につながると信じて、目の前の出来事に一喜一憂することなく、健康に留意しつつ、充実した一年にしたいものです。「冬来たりなば春遠からじ」の精神で頑張りましょう。

以上、還暦を迎える一職員からの新年のあいさつでした。



看護部長 寒川 忍

新しい年を迎え、心よりお慶びを申し上げます。

昨年の出来事を個人的に振り返ってみますと、「別れ、出会い、そして別れ」と別れの割合が多かったように感じました。何があったのかはご想像にお任せします。仕事面においては病棟編成をはじめとした新たな取り組みを実施してきました。戸惑うことも多くありましたが、無事に乗り切ることができました。これもひとえに、皆さんのお力添えがあったからこそであり、心から感謝しています。本当にありがとうございました。

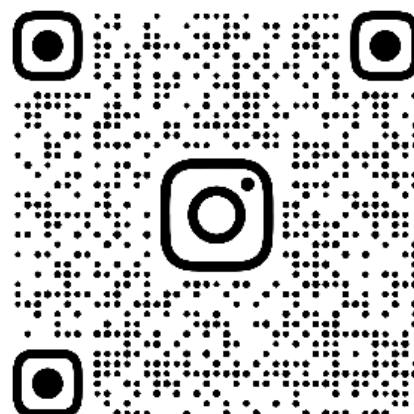
さて、今年の干支は午年（うまどし）です。午（うま）は「俊敏さ・勢い・成長・活発」を象徴する存在であり、「勢いがありスピード感がある」「行動力・決断力が高まる」「成長を後押しする」「社会が活気づきやすい」との意味を持つと言われているそうです。

また、「動けば動くほど道が開く年」ともいわれています。「働いて、働いて、働いて、働く」と意気込みを語っていた方がいましたが、我々半田病院職員も最初から諦めるのではなく勝利を目指し力強く駆け抜けていきましょう。愚痴を吐き出すことも大事ですが、負のオーラをまとうのではなく、情熱的にエネルギーに活動していきましょう。

本年も皆さまからのご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。



半田病院の Instagram
アカウントができました。
ぜひフォローしてくださいね。



TSURUGIHANDAHOSPITAL

◇ 理 念 ◇
安 心 と 信 頼、そして 地域と共に歩む

◇基本方針◇

- 1 患者さんに安全・安心・納得のできる医療を目指します。
- 2 地域に信頼され、温もりのある病院を目指します。
- 3 地域の保健・医療・福祉機関と連携し、在宅医療の拡充と住民の健康増進を目指します。
- 4 公営企業として、健全経営を目指し、地域に安定した良質な医療を提供します。

半 田 病 院 外 来 診 療 一 覧 表

	曜 日	月	火	水	木	金
内 科・総合診療科	1 診	山 本 (県 中) (循環器内科)	高 島 (総合診療科)	ゼング ロバート (大 学) (循環器内科)	井 坂 (消化器内科)	中 園(第1,3,5) 柴 田(第2,4) (消化器内科)
	2 診	並 川	並 川	廣 瀬 (総合診療科)	並 川	
	3 診	井 坂 (消化器内科)	中 矢	中 矢	廣 瀬 (総合診療科)	中 矢
	午後外来	山 本 (県 中) (総合診療科)		多 田	高 島 (総合診療科)	多 田
	午後 予約外来	中 矢 (14時～16時30分)		並 川 (禁煙外来・ 休診中)	中 園 (甲状腺外来)	
	糖尿病内科	松 久 (大 学) (隔 週)				
内 視 鏡	午前					
	午後	廣瀬・高島・中園	井坂・廣瀬 (中 園)	香川大学 (井坂・高島)	中 園・高 島 香川大学(第2,4)・ 廣 瀬	井坂・廣瀬・高島 (中 園 第2,4)
整 形 外 科	診察医	柏 口 (9時30分～16時)		柏 口(第2,4) (9時30分～16時)	横 山 (大 学) (10時30分～15時)	
外 科	診察医	出 石	出 石	出 石	武 知(第1) 森 本(第3) (四国中央) (9時30分～)	大学医師 (14時～16時)
					出 石(第2,4,5)	
産 婦 人 科	1 診	沖 津	中 川	沖 津	土 肥	谷 口
	2 診	土 肥	笠 井	谷 口	中 川	笠 井 (午前) 中 川 (午後予約)
小 児 科	診察医 午前外来	山 口	福 良 (大 学)	山 口	山 口	福 良 (大 学) 小児神経外来 森 (第2,4)
	午後外来	予防接種	乳児健診	1ヶ月健診	一般外来 (15時～16時30分)	予防接種 小児神経外来 森 (第2,4)
耳 鼻 咽 喉 科	診察医			大学医師 (9時～12時)		大学医師 (9時～12時)
眼 科	診察医	大学医師 (13時30分～16時)				
皮 膚 科	診察医					大学医師 (13時～16時)
放 射 線 科	診察医	西 谷 亀 井	西 谷 亀 井	西 谷 亀 井	亀 井	西 谷
泌 尿 器 科	診察医	須 藤 (9時00分～12時)	西 山 (大 学) (9時30分～12時)	須 藤 (9時00分～12時)	森 山 (9時00分～12時)	多 田 (腎臓内科) (9時00分～12時)

R8.1.1 現在

■外来受付時間 月曜日～金曜日 午前8:30～午前12:00

※耳鼻科、整形外科は11:30まで。

※再来受付機稼働開始時間は午前7:30からです。

※予約診療のみで当日受付をお断りする場合がございます。ご了承ください。

※午後外来については各診療科にお問い合わせください。

※ご意見・ご要望がございましたら、ホームページ、または院内御意見箱までお願いします。

つるぎ町立半田病院 〒779-4401 徳島県美馬郡つるぎ町半田字中藪 234-1

T e l : 0883-64-3145 Fax : 0883-64-4138 ホームページ <https://www.handa-hospital.jp/>